



新温泉町【兵庫県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成26年3月 ■ 人口：1,4134人 ■ 面積：241km²
■ 担当課：新温泉町教育委員会生涯教育課（平成30年3月現在）



新温泉町は、“日本列島誕生のダイナミクス”を物語る壮大な地質・地形の海岸や、地域で受け継がれてきた伝統芸能など、貴重な歴史文化遺産を数多く保有している。この貴重な歴史文化遺産をすべての人々が再認識し、人と自然との共生を基盤に、“自然と人間のかかわり”をテーマとした持続可能な町づくりを進めるために、地域住民と行政の協働による歴史文化遺産の活用を進めていく。

5 歴史文化を表す
つのキーワード

地質、北前船、伝統芸能
近代化遺産、天然記念物

課題

- ・ 長期的課題：歴史遺産を町民主体で活用していく環境を目指す
- ・ 短期的課題：歴史遺産を「町の宝」であることを認識してもらう

保存活用方針

- ・ ガイド育成、パンフ作成、調査研究の実施など
⇒ ソフトメニュー
- ・ 展示施設整備、案内板設置など
⇒ ハードメニュー

保存活用のための取り組み

案内ガイド等の育成と充実

町内外の人々に向けて歴史遺産の価値や成立の過程などを説明できるガイドを育成する。また次世代に歴史遺産の受け継いでいくために、ウォークラリーイベントなど子どもから大人まで、各世代の町民の方に地域の歴史遺産に触れて知ってもらう機会を設ける。



ガイドブック作成、展示施設・案内板などの整備

町内にある歴史遺産がどのようなものであるか知ってもらうためのガイドブック、マップなどを作成する。また実際に見学・体験してもらうための展示施設や案内板などのハード的な設備の整備を進める。

周辺地域との連携ネットワークの構築

地域の歴史遺産の価値を再確認し、他の地域の活動についての情報を共有することで、相互に発展して行くことをめざす連携ネットワークを構築する。

調査・研究の実施

地域に昔からある歴史遺産について調査・研究を行うことにより、歴史遺産の持つ価値や意義を明確なものとし、調査報告書などを作成することで途切れることなく次の世代に継承できるようにする。



歴史的景観形成地区



味原川は町内を縦断し海へ流れ込む岸田川の支流で、川沿いには江戸時代から明治時代にかけて繁栄した旧家の石垣が並んでいる。周辺地区は兵庫県の歴史的景観形成区域に指定されており、現在資料館として活用されている七釜屋森家住宅（国登録有形文化財）を中心に、住民に使用されていた共同の洗い場や井戸、河口の港で積荷を載せた小舟が商家で荷を下ろした船着き場など、地域の歴史を今に伝える風景が残されている。

主な歴史文化遺産

- ① 商家の繁栄を伝える石垣群
- ② 国の登録文化財に指定された七釜屋森家住宅
- ③ 暮らしの歴史を伝える洗い場跡や水神様の社
- ④ 地域住民によって守られる蛍の見える川

策定後の成果（見込まれる効果）

- ① **地域の再評価促進**
- 地域について学ぶ機会を増やすことで、子どもだけでなく上の世代でもこれまで知られていなかった地域の歴史遺産の価値について関心が高まり、地域の魅力が再評価される。



- ② **関連事業への発展**
- 新温泉町では、世界的に見て貴重な地質、自然を持つ「山陰海岸ジオパーク（世界ジオパーク）」、日本遺産「北前船」の構成市町として認定を受けているほか、町の伝統芸能である「麒麟獅子舞」の申請を検討している。歴史文化遺産活用計画は、これらの事業を盛り上げるうえでの核の部分となる。



- ③ **次世代への継承**
- 新温泉町は全国の多くの自治体と同様に少子高齢化、過疎化が急速に進んでいる。そうした状況の中で歴史遺産の価値を町民の方に理解してもらうことで郷土に関心を持ってもらい、資源として町の活性化に役立ててもらい、歴史遺産を次世代へとつなげてもらう。

